

奈良日和レター

『生涯自らの足で歩き続けるために』 セミナーを開催しました



10月6日(日)、兵庫医科大学の伊藤先生をお招きし、『生涯自らの足で歩き続けるために』セミナーを開催したところ、24名もの多くの方にご参加いただきました。

皆さんで足の柔軟性の測定を行ったり、先生から、90歳になっても”かくしゃく”と歩けるよう、目標を持つことや訓練の大切さ、日々心がけることなどについて、動画を交えてわかりやすく説明いただき、有意義な時間を過ごすことができました。

今後、定期的に関催することも検討したいと考えています。

「奈良日和」でのエピソード

「奈良日和」では、“体内温度”と“流れ”に着目したサービスの提供を通じ、皆様の健康・長寿のお役に立ちたいと考えています。Vol. 01では、ご利用者様の声をいくつかご紹介しましたが、今号では、最近の嬉しい出来事をご紹介します。「奈良日和」は“治療の場”ではありませんが、ご利用者様の喜びの声を我々スタッフの励みとして頑張っていきたいと思っています。

体験利用を終えられた後、驚かれた表情でこう仰いました。「これまで2年半、病院のリハビリに通いつづけて一向に改善しなかった足の浮腫み、重ダルさが、いっぺんに良くなった。帰宅したらすぐに次回の病院のリハビリの予約を取り消す電話をします。」

この方も体験利用当日のことです。室内を移動するのも杖を手放せないご様子でしたが、一通りのプログラムを終えた後、杖無しで、しかも大股で室内を闊歩されました。よほど嬉しくてらっしゃったのか何回も往復され、それをご覧になられていた他のご利用者様から拍手喝さいでした。その後、継続してご利用いただいています。[要支援1・

4回目のご利用時、ご利用者様から「以前から少し出していた手の甲の湿疹が、遠赤外線温浴を利用すると、どうも酷くなるようだ。」との申告がありました。驚いてその場で温浴器の製造元の代表者(医学博士)に電話で問い合わせしたところ、「薬やサプリメントを大量に服用されている方に稀にそのような症状が出る場合があります。これは体内の血流が良くなって自己免疫力が高まることにより、体外に排出されない毒素を排出しようとする”好転反応”で、心配は要りません。」とのことでした。ご本人に尋ねると、確かに薬を多く服用されている方でした。

ただ私たち事業所としては、光線アレルギーなど他のリスクも心配でしたので、暫く温浴を見合わせていただくとともに、皮膚科での受診と光線アレルギー検査(光パッチテスト)をお勧めしました。

後日、ご本人から受診結果の連絡をいただきました。お医者様は、「紫外線ならともかく遠赤外線でそのようなリスクは考えられない。温浴の日は薬を止めて継続したらどうか。むしろそれ(遠赤外線温浴)に賭けてみてはどうか」と仰ったそうです。その後、温浴を再開され、今は湿疹の跡も綺麗になられました。偶然だったのか、“好転反応”だったの

機能訓練指導員(マッサージ師、柔道整復士)の体制を強化しました。
体験利用は是非、[遠赤外線温浴]と[マッサージ]のセットでどうぞ。